

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第91号(201702)

発行 竹田 幸男



## 新年昼食会

1月11日は今年最初の活動日で、恒例によって例会前に新年昼食会を行いました。今年は、ちょっと趣向を変えて、例会会場の斜め前にあるイタリア料理店、ラ・ボッテガで。うららかな新春の午後を、ちょっぴり優雅に過ごしました。

## 例会の窓

平成29年1月例会

日時：1月11日（水）

12：00 新年昼食会 イタリアン ラ・ボッテガ

13：30～市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷

（例会のみ）小笠原 吉岡地区委員

欠席者：2名（50音順・敬称略）

### 例会次第

#### 1. 報告・連絡事項

（1）会報随想 妹尾さん

#### 2. 協議事項

（1）3月のビデオ作品発表会の計画

- ・1/11 出品作品決定・出品作提出
- ・1/22 プログラム原稿決定
- ・2/8 当日の準備内容決定・プログラム配布・出品作修正版提出
- ・3/11 実施
- ・当日の持参品、オーディオ関係の準備品と運搬方法の打ち合わせ（2/8）。
- ・今回は作者順でなく内容別にプログラムを組みたい。
- ・1月末までに正確なタイトル、時間、内容紹介文をメールで竹田まで。

（2）去年の忘年会の結果

- ・賑やかな楽しい忘年会だったので今年も「がんこ」でいいのではないか。

（3）去年の撮影会の結果（特に映像寝屋川での作品面）

- ・今回は撮影会で撮ったたくさんの作品が出てきた。

（4）BDプレイヤーの修理

- ・ディスクトレイが出てこない。保証期間内なので今日修理に（担当新井さん）。

#### 3. 映写・研究発表

（1）吉岡さん 新春懇親会で披露される「結いの花」ムービーメーカーでスチル写真を綴ったもの。各画面をもう少し映写時間を長くした方が見やすい。

（2）新井さん 「昆陽池の水鳥たち」 8分 去年の撮影会をベースに秋に再度撮影に行ったので、内容が非常に豊富になった。

（3）妹尾さん 「吉野山大名行列」 10分

初めて入れられたナレーションが良く出来ています。以前の詳細なキャプションが残ったままなので、整理して重要な固有名詞などに限定されると良い。一連のナレーションを分割して最適な映像の部分に配置されると良い。キャプションも同様です。

（4）谷さん 「憧れの蔵王！」 7分

前作に比べてケーブルカーからの風景映像の部分を短くして樹氷の場面を多く取り入れたのが良かった。

(5) 小笠原さん 「角倉了以の水運開削の軌跡」 10分

前作に比べて不要な部分がカットされてストーリーがわかりやすくなりました。ナレーションが何回かに分けてされたので、声音に少しばらつきを感じます。

(6) 「大阪北そぞろ歩き」 9分30秒

仮想の秀吉さんの声音も入れて、画期的デザインの建築やキタの賑わいを紹介した楽しい作品です。

#### 4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等

・佐伯さんのパソコンの問題解決と編集ソフトの進路

今日持参されたビスタのノートパソコンに再インストールして使えるようにしてあげる。これで当面「超編」で今までの撮影分を編集しながら、もう1台のWindows 10のパソコンでプレミア・エレメンツに取り組んでは如何。

・映像寝屋川でもプレミア・エレメンツを始めたばかりの人がいるので、統合した「研究会」を作りたい。当初講習会をやった後、自主運営しながら相互研修でお互いが向上するような方法を考えて頂きたい。



### 「人の振り見て」

妹尾 哲男

八十路の半ばを過ぎると、通院が急に増えてくる。私の場合、星ヶ丘医療センター、阪大歯学部、京都府立医大の受診予定が並んでいる。殆どは予約制で診察時間が決められているが、どことも高齢の患者が溢れていて予約時間をオーバーするのが常態化している。

これら病院での待ち時間中に気づいた「人の振り見て……」を二例紹介する。

(1) 最近、リニューアルした病院の待合室には患者本位に考案されたチェアが設置されているところもあるが、伝統的なベンチ式の長椅子が廊下に置かれているところが多い。その場合、自分の座っているベンチに空きが出来て誰かが着席する気配がある際には身構える。

ベンチに「ドッカ」と腰を下ろす人が多く、その余波（振動）で嫌な思いをすることが多いからである。特に、体格のいい高齢の男性が隣に着席する場合は覚悟が必要だ。女性の場合、男性に比べて余波は小さい。

特に、ベンチの座面の高さが少し低い場合、高齢の患者は足腰の微調整が難しく

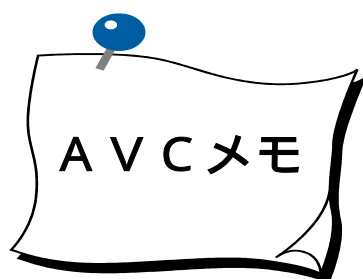
なり、シートまで腰をゆっくり下ろして静かに着席しないで、位置を見極めてドスンと勢いよく座ることが多い。この場合、同じベンチに座わっている人々が被害を受けることになる。

このような嫌な思いをお互いにできるだけ減らすべく、待合ベンチに着席する際は、病院に限らず、乗り物でも意識して静かに腰を下ろすよう努めている。

(2) 最近は診察室前の廊下に、血圧計、身長・体重計などを設置し、待ち時間を利用して、診察に必要なデータを自ら測定して、出力データシートを受診時にドクターに提示するようになってきているところが多い。特に、血圧計は多くの病院で廊下に置かれている。患者の動線を十分考慮して血圧計の設置場所・位置が決められている場合は問題ないが、建物の構造などの事情で通路の壁面に直面するようレイアウトされているところも多い。この場合、通路に椅子を引きだして座り所定の姿勢で血圧測定をする。

測定終了後、多くの場合はデータシートを切り取り、所持品などを携えて待合ベンチに移動することになる。この時、使用した血圧測定用の椅子を元の位置に戻して立ち去る患者は稀で、椅子は通路に引き出されたままのことが多い。

親・教師・先輩から日常的に教わるが多かった、「使用した器具は元の位置に戻せ」という教訓は実践されていないことが多い。病院の提案箱に「血圧測定器のコーナーに“使用した椅子は元の位置へ戻せ”と注意書きするよう」に提案したが、未対策のままである。提案をした手前、私自身は元の位置に戻すように努めている。これは病院に限らずレストラン、図書館などでも実行するよう心掛けている。我々は、人の行動、言動を批判的に受け止める場合が多いが、それらを反面教師として活かし、お互いに少しでも住みやすい温かな社会にしたいと願っている。



## 「プリントスクリーン」の勧め

竹田 幸男

パソコンで何かトラブルが起こった場合、その結果の多くは画面に現れます。トラブルの内容をよく知る人は画面をみれば、どうすればよいか判断がつく場合が多いのです。

所が、この画面の状況を正しく伝えるのは困難です。画面一杯に警告や表示の文字が示されている場合、書き写すのは手間がかかります。また、表示が短時間で消えてしまう場合もあります。画面に変化がある場合、細部まで正確に表現するのは難しく、「画面に幕がかかった」などと表現されると、どういう状態なのか、想像が出来なくて途方に暮れることになります。

こういうとき、問題の画面をそっくりコピーすれば、わかる人は、それを見て何

が起きているかを判断でき、早い解決につなげることができます。

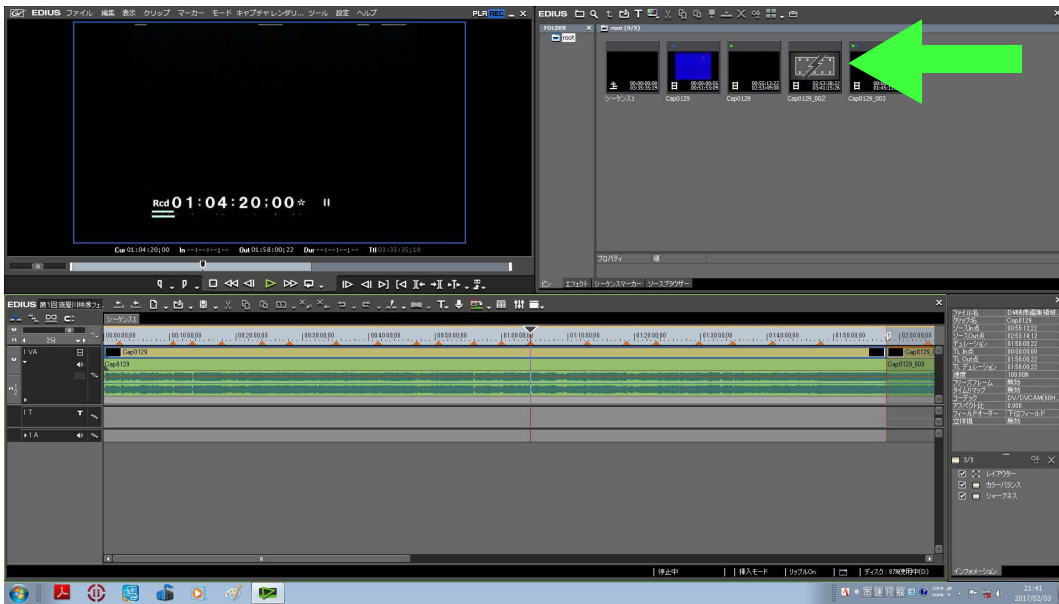
では、「プリントスクリーン」の簡単な方法を申し上げます。

事前の準備として、「ペイント」というソフトのアイコンをデスクトップに作っておくと操作が楽です。ウィンドウズ7の場合は、デスクトップ左下のスタートマークをクリック(何も断らないでクリックと書く場合は左クリック) - 「すべてのプログラム」をクリック、「アクセサリ」をクリック、「ペイント」で右クリック、「送る」をクリック、「デスクトップ」をクリック。

デスクトップに「ペイント」のアイコンが出来るのでそれを右クリックして、「タスクバーに表示する」をクリックしてタスクバーにアイコンを作っておきます。タスクバーというのはデスクトップの下サイドの帯で、アイコンや日時、IMEや音量表示などを表示する場所です。

ウィンドウズ10の場合には、スタートのウインドウマークをクリックして「すべてのアプリ」をクリック、「Windowsアクセサリ」をクリック、「ペイント」を右クリックして「スタート画面にピン留め」をクリックします。ウィンドウズ10の場合はタイルの1つとしてピン留めされますから、ピン留めされたタイルをタスクバーにドラッグ・アンド・ドロップして貼り付けておけば使いやすいでしょう。

コピーしたい画面、たとえば映像ソフトの編集画面をディスプレイのスクリーンに、なるべく大きく表示されるようにしておき、キーボードの「プリントスクリーン」のキー(「Print Screen」「Prt Scr」などと教示されたキー)を押します。そのうえで、さっき作っておいた、タスクバーの「ペイント」のアイコンをクリックすると「ペイント」の画面が開くので、ペイントの画面で「貼り付け」のアイコンをクリックするとペイントの画面に、先ほどのディスプレイの画面がそっくり張り付きます。ペイントの画面で「トリミング」をクリックした上で画面の中の必要な部分の左上をクリックしたまま右下までドラッグすると範囲指定が出来、もう一度「トリミング」をクリックすると必要な部分が残るので、「名前を付けて保存」をクリックします。たとえば「\*.png」という名前が付くので「\*」\*の部分にわかりやすい名前(たとえば「編集画面」など)を付け、jpegファイルにしたければ、拡張子(ファイル名の「.」以後の文字)に「jpg」を選択して、わかりやすい場所、たとえばデスクトップに保存し、このファイルをメールに添付して相手に送るなどして利用します。



このように保存したパソコンのデスクトップの画像サンプルが左図です。プリントされた画面に緑の矢印で示した部分が、前回の「ファイルがありません!？」で指摘したような、編集画面

面からはファイルの存在がわからなくなった場合の表示です。ビンウインドウのアイコンに稲妻のような模様が入っています。このような画面が送られてくれば、この原因が何であるかは、すぐに見通すことが出来るでしょう。

パソコンの動作がうまくいかないとき、何かエラーが起こったとき、また操作方法がわからないときなど、無駄な時間を費やして悩むよりも、誰かに聞いた方が早い、そんなときに大変重宝するツールです。